



えん 園だより 9月号

Y M C A 保育園ねがい
2024年9月2日発行

「主において常に喜びなさい。」フィリピの信徒への手紙 4 章 4 節

暑い暑い夏も、台風といっしょに秋を連れてくるのでしょうか。朝・夕は少しずつ涼しくなってきました。

子どもたちは、今年の夏もたくさんの「生まれて初めて」に出会い、わくわくドキドキの連続でした。一人ひとりが目に見えて大きく育っている秋です。「これはなんだろう?」「なんだかおもしろそう!」と毎日、たくさん遊んで経験を積んでいます。子どもって本当に素晴らしい!そして、大人になっても忘れない大切な事を感じ、考えています。「子どもって、みごとな人間。」が、今、保育業界でのキーワードになっています。

保育科の大学生に「ぐりとぐら」の絵本について聞いたところ、殆どの学生が読んでもらったことを覚えていたとの報告がありました。そして、「ぐりとぐらの真似をしてカステラを作った。」「動物園に行ったら、ぐりとぐらがいた。(と思ったけれどリスだった)」「お父さんが海坊主の真似をした。」だれかといっしょに何かをした、楽しかった思い出!

子ども達の生活する場所が、たくさんいる友だちの中で「ひとりで過ごしたり」、「子どもと子ども」「子どもと大人」が心地よくかわりあったりして、「楽しいこと」をたくさんできる場所になったら素晴らしいと思います。そして、たとえ途中で思い通りにならなくて、じれたり、おこったり、涙がでたとしても、残念な結果になっても、最後は助けられ、赦され、見方になってくれる安全基地があったら、また「やってみよう」と冒険にチャレンジできると信じています。安全基地はお母さん、お父さん、おばあちゃんやおじいちゃんかもしれないし、保育園の先生や通りすがりの近所の人かもしれません。

日本では他の国と比較して、幸福だと感じている子ども、自分に自信を持っている子どもが極めて少ないということが、わかってきました。今、「子どもの時の幸せだった記憶がその後の人生を幸せにする」と気づいた子ども家庭庁が本気で「幸福なこどもとこどもの育ち」について取り組みを始めています。

【はじめの100か月の育ちビジョン】

https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/6e941788-9609-4ba2-8242-42f004f9599e/e9da41d5/20240326_policies_kodomo_sodachi_14.pdf

私たちは、どんなに悲しい事や辛いことがあっても、世界中の人がわかってくれなくても、最後の安全基地となって守ってくれる神様を信じる事ができたと思います。希望を失わないことが喜びの源となるからです。

えんちょう いまいせつ
(園長 今井世都)

